

♪国際チャリティイベント♪

日時:2012年3月4日(日)10:30~  
 場所:とよなか国際交流センター(下記地図参照)  
 主催:国際交流市民ネットとよなか 入場無料  
 <プログラム>  
 \*ベトナム人留学生のお母さんの緊急医療費支援活動  
 \*タリバンに襲われ日本に避難しているアフガニスタン人レザさんのお話  
 同時にベトナム・インドネシア・ネパールの歌や踊り、木蘭拳、フローレス・デュオ(ペルー)の演奏のほか、バザーやエスニック料理など、楽しいイベントも盛りだくさんです。  
 \*また、16:00より5Fすてっぷホールにて、ミンダナオ島洪水被災者支援のための「フィリピンダンスショー」が開かれます。(入場料1000円)  
 ぜひお越しください!お待ちしております。



ズンさんの医療費支援のお願い

大阪大学留学生のグエン・ティ・ランさんのお母さん(ズンさん)が、ランさんの赤ちゃんの世話で来日されましたが、昨年9月30日に「くも膜下出血」で倒られました。緊急手術を経て少しずつ回復の方向に向かっていますが、短期滞在の予定だったため保険がなく、これまでの医療費が700万円以上になり、支払い不能です。皆様の温かいご支援で、医療費を支援したいと呼びかけています。よろしくお願いたします。  
 <支援金の送金方法>  
 振込先:国際交流市民ネットとよなか  
 郵便局から:記号:14100 番号:87715191  
 郵便局以外から:ゆうちょ銀行 店名:(よんいちばち) 店番:418 普通貯金口座:8771519  
 <呼びかけ団体>  
 在大阪大学ベトナム人青年学生協会  
 在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館  
 <協力団体> 国際交流市民ネットとよなか 他



TIFA会員のご案内

- 正会員…入会金2000円 年会費6000円(月500円)  
TIFAで実際に活動を行う会員です。何かやってみたい方はぜひ!
  - 賛助会員…年会費一口3000円 TIFAの活動を資金面で支援していただく会員です。ニュースレター等をお送りします。
  - 寄付…金額は自由です。活動に大切にに使わせていただきます。
- 入会方法など、くわしくはTIFA事務局にお問い合わせください。

サパナメンバー募集中!

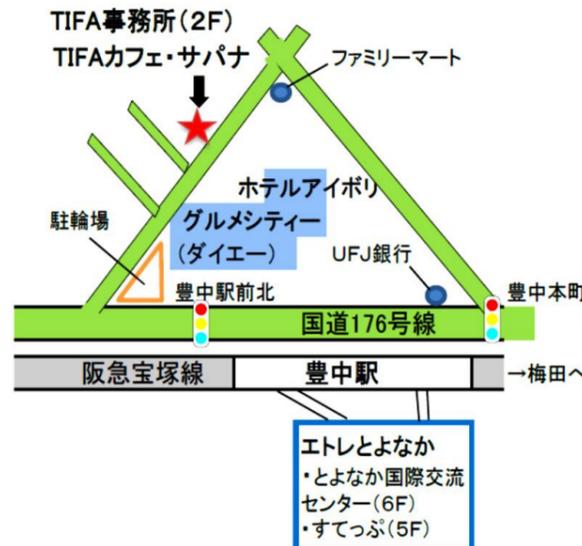
現在、TIFAカフェ・サパナの登録メンバーを募集しています。登録ご希望の方はご住所・メールアドレスを下記のTIFA事務局までお知らせください。キャンペーンのお知らせや、毎月のランチ・イベント等のご案内をお送りします。ご提案も大歓迎。楽しいカフェをご一緒につくっていきましょう!

発行: 特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか

TIFA(国際交流の会とよなか)は、豊中市にて1985年11月に発足しました。メンバーと地域に住む外国人が協力し、言葉や文化、国籍が異なる人たちがともに生きやすい社会の実現を目指して活動しています。

事務局 〒560-0021 大阪府豊中市本町3-3-3  
 Tel/Fax: 06-6840-1014  
 E-mail: tifa99@nifty.ne.jp  
 お問い合わせ・お申込みは 月~金曜 09:30~17:00  
 ホームページ: http://homepage1.nifty.com/tifa/

最新のイベント情報はホームページをご覧ください



Toyonaka International Friendship Association

TIFA ニュースレター vol.26

特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか 2012年2月発行

★TIFA事務所を移転しました★

2012年1月に、TIFA事務所を下記に移転しました。阪急豊中駅から徒歩4~5分の便利なところです。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

〒560-0021 大阪府豊中市本町3-3-3 (電話番号等は変更ありません)

TIFAカフェ・サパナ まもなくオープン!

「世界と出会う空間」を合言葉に、新しい事務所の1階でカフェを始めます。アジア各国の家庭料理を味わえるほか、カフェとしても居心地のよい空間づくりを目指しています。3月10日(土)のオープンに向けて だいたい準備中。さてさて、どんな楽しいお店ができるかな...? (場所は裏面の地図をご覧ください)



「サパナ」(SAPANA)は、ネパール語で「夢」です。

試作を繰り返しています

日本で暮らす外国人家族の主婦、というと皆さんはどのような方々を想像されますか? 今度私たちが一緒に店を切り盛りしてくれる方々は皆私たちが同じように子育てをし、中には仕事をしながらも日々家族のためにおいしいご飯を食べてもらおうとやりくりしている普通の主婦たちです。みなさん自国の伝統をまもりながら限られた食材で工夫されています。そんな彼女たちが今度お店で出す料理の試食会が行われました。(1月13日) 味は良くても一度にたくさん量を作らなければならず、味付けや盛り付け、食材の内容など、まだ検討しなければならないことがいろいろあります。彼女たちの奮闘はオープン目指してまだまだ続きます。(安本洋子)



◆TIFAカフェ・サパナってどんなところ?

- 市民による国際交流・国際協力活動の一環として、TIFAが運営するカフェ&交流スペースです。
- \* 地域に住む外国人の活躍の場
- \* 日本人と外国人が食文化を通じて交流する場
- \* 外国の言葉や文化を体験したり学んだりする場

◆サパナで何が出来るの?

- 現在、以下のようなプログラムを企画しています
- \*美味しいコーヒーや紅茶、手作りのお菓子などを楽しめるカフェ
- \*外国人が腕をふるう日替りランチ
- \*ネパールの女性たちの作品やフェアトレードグッズなどを展示販売する「お買物コーナー」
- \*国際交流しながら外国の言葉や文化を学ぶ教室
- \*さまざまなイベントに利用できるレンタルスペース(週末のみ)

NPOならではの自由な発想で、ちょっと刺激的かつ居心地のよいスペースをつくりたいと思います。ぜひご来店ください。

現在、土曜・日曜のイベント企画募集中!  
 お気軽にお問い合わせください。

## ネパール報告

TIFAは、ネパールの田舎の女性や子ども達のために過去18年間、現地の人たちとともに活動を続けてきました。このたびネパールプロジェクトメンバーが支援先を訪問しました。現地の様子や今後の支援計画をレポートします。

### サクー村訪問記

パティ・シュレスタ

私の故郷ネパールは10年間におよぶ内戦が終了し平和になりつつありますが、国内産業は疲弊し多くの人々が海外に出稼ぎに行っている世界の最貧国の一つです。ネパールの首都カトマンズでさえ年中計画停電があり、上水道も一日数時間の給水しかない状態です。

今回、支援をお願いする子どもたちは、カトマンズからバスで約2時間のサクー村から山道を歩いて約2時間のカトマンズ盆地の外れに住んでいます。もちろん電気も水道もガスもないところ。子供たちの親は農業に従事しており、自分の土地を持たない小作人です。日雇いの農作業の収入は不安定で、厳しい生活環境に置かれています。

子どもたちが通う小学校と家を訪問しました。小学校はカトマンズ盆地を囲む標高1600mの山間にあります。周りは民家が点在しています。生徒たちは何十分も山道を歩いて学校に通っています。校舎は窓にガラスがなく鉄格子になっており、冬場の勉強は寒いだろうと思われました。そのためか、または栄養不足からか、鼻水を垂らしている生徒が多かったことに驚きました。

学校から20分ぐらいの生徒の家を訪問しました。家の中には電灯がなく、窓も小さく昼間でも真暗でした。寝室は土間にムシを引



き、粗末な布団で寝ていました。ネパールではまだまだこのような厳しい環境で生活している人が多くいることを皆様にご存知いただきたいです。

### ネパール現地レポート

葛西 美紗

#### \*ドダウリ村

診療所は今年度ボランティア貯金の配分金から現地医師・スタッフの雇用費の補助などをいただくことができましたので、スタッフが整い、村人に大変役立つ施設になりました。病気・けがのほか100人あまりの女性が出産に利用できています。

#### \*子どもの家

子どもたち10名は元気に暮らし、料理や家事・養鶏の手伝いなどを行っています。昨年5月に500羽のヒヨコを飼い始めて、11月頃より卵を産み始め、現在1日400個位産むので、卵を集めきれいにし出荷しています。卒業生5人は、シンズリマディのあたりに住みながら、農業指導者養成、看護師養成、ダカ織研修、美容師見習いに励んでいます。元卒業生のカピタは、お姉さんと一緒にシンズリマディで美容院を開きました。うまくいよう祈っています・・・



#### \*府立松原高校の研修

生徒と先生が3月中旬に、ネパール・ドダウリ村を訪ね、ホームステイをしながら現地の生活を体験し、小・中・高校生たちと文化交流を予定しています。このため、12月末、先生2人が通訳・コーディネーター担当の上口希実子さんとともに、現地の下見に行かれました。概ね好評で、3月の生徒さんたちの感想を楽しみにしています。

### サクー村の子どもたちの里親を募集します

カトマンズから北東へ約20Kmのサクー・グマール村の小学校では、厳しい生活環境のため子どもたちはなかなか学校へ行けず、また学校給食がないために継続的に勉強することが困難な状態にあります。そこで子どもたちの教育費と給食費用の支援が必要と判断し、里親として支援して下さる方を募集することになりました。みなさまのご協力をお願いいたします。

会費：子ども一人あたり1か月 2,000円 年間 24,000円

いただきました支援金は、現地NGO「TIFA 自立会ネパール」から学校長を通して子どもの教育費を渡し、一部は給食代に充てられます。年2回程度は子どもからの手紙と成績表をお届けします。また、ご希望の方には、「子どもを訪ねる旅」もご案内いたします。くわしくはTIFAネパールプロジェクト事務局(Tel 06-6840-1014)までお問い合わせください。(担当：パティ、三上、島本)



## 活動報告

### ■国際理解講座

2011年12月17日 南桜塚こども教室

#### 「フィンランドのクリスマス」

講師のヤルッコさんはフィンランドからの留学生。前半はパワーポイントを使ってのお話とフィンランドのクリスマスソング。後半は、みんなでクリスマスオーナメントを作りました。ムーミンの絵をみせると「しってるー！」と、子どもたちの反応も上々。フィンランド語の歌は難しかったけれど、くりかえしの部分になると全員が「ティップタップ、ティップタップ」と唱和していました。

TIFAの国際理解講座では、実施先と協力し、ニーズに合わせた丁寧なプログラム作りを心がけています。今回は「低学年の参加者も楽しめるクリスマスプログラムを」との希望に応じたものでした。低学年を中心に70名ほどの子どもたちがクラフトまで楽しめたのは、地域のボランティアの皆さんの力が大きかったことは言うまでもありません。(コーディネーター 神野美知子)



### ■グローバルサロン 「カオハガンキルトの魅力」 2011年12月10日(土)

12月10日(土)「カオハガンキルトの魅力」に約20名の方が参加されました。大胆かつ可愛い南国のキルトに囲まれながら、吉川順子さんより、フィリピンのカオハガン島で15年間のキルト指導の関わりを話していただきました。こちらの注文を押し付けず、現地の人たちの自由な発想を大切に結果、素晴らしいキルトが出来上がったと話されていました。「未熟でも出来が悪くても、すべて買い取るんです」と吉川さん。明るくのびやかで、見ているだけで元気の出る作品から、作っている人たちがいかにハッピーかが伝わってきました。(水谷 玲子)



### ■ニューフェイス紹介



ナマステ！みなさんこんにちは。三上亜弥(みかみ あや)です。私がTIFAのメンバーとして深く関わるきっかけとなったのは、TIFA会員でネパール出身のパティさんとの出会いでした。前職場の「すてっぷ」で出会ったその日にパティさんの弟さんの結婚式に誘われてネパールへ行き、気づけばネパールプロジェクトの一員に。昨年末にはネパールのサクーへ行き、現地小学校を視察してきました。今、その小学校に通う子どもたちの支援活動を始めています。

国際交流には高校生の頃から興味があり、大学の開発環境学科で途上国の現状や先進国の開発援助、環境ホルモンについてなど、幅広く勉強しました。これから、ネパールプロジェクトはもちろんですが、子どもキャンプや「カフェ・サパナ」の運営にも積極的に関わっていきたくと思っています。

### ■日本語ボランティア実践研修

文化庁からの委託を受けた「にほん語ボランティア実践研修」は、地域の日本語教室をよりニーズに合ったものにし、ボランティアのスキルアップを図るために今年度5月～12月に実施しました。ウーワイシェンさんの「生活者目線の漢字学習を考えよう」、石橋由紀子さんの「あなたを知り、わたしを知る」、サマンティカ・ロクガマガさんの「日本語指導で大切なことー相手を理解しよう」、安田乙世さんの「にほんご指導の基礎・自信を持って学習者と向き合うために～」、「Part2～日本語\*国語どう違う？」、泉原省二さんの「外国語としての日本語」、西口光一さんの「漢字教育の体系化と漢字学習」など、学習者の目線に合った日本語サポートのあり方・技術を学ぶことができました。日本語ボランティアの皆様から、不安になりがちな活動に大変役立った・今後も続けて勉強していきたい等の感想を聴いています。

(葛西 美紗)



### ■多文化子育てサロン 「親子でリトミック」

12月1日、子育てサポートグループ your friend げんき村代表の松下さんに指導していただき、リトミックを楽しみました。子どもたちは音健ルームを走りまわり、笑顔いっぱい。ベトナムへ帰国するイエンさんが「チェー」(スイーツ)を作ってくれて、みんなでおいしくいただきました。(田坂百合子)

